

第8回「山の日」全国大会 TOKYO2024 記念式典について

日 時：令和6年8月11日（日・祝） 10:00～12:00

場 所：J:COM ホール八王子

主な出席者：栗岡東京都副知事、杉本福井県知事、朝日環境大臣政務官、
青山林野庁長官、衛藤会長（超党派「山の日」議員連盟）、
谷垣会長（一般財団法人全国山の日協議会） ※順不同

<概要>

「山の日」とは、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という趣旨で平成28年から始まった国民の祝日です。

山の日全国大会は、この祝日の制定趣旨を国民に広く知ってもらうことを目的として、毎年、「山の日」である8月11日に、第1回の長野県から第7回の沖縄県まで各県持ち回りで開催されてきました。

来年度の山の日全国大会は福井県で開催されることが決定しており、今年7月16日には杉本知事をトップとする第9回「山の日」全国大会実行委員会を設立しました。

本県の大会に先立ち、今年、第8回目の全国大会が東京で開催されたことから、次期開催県を代表し、杉本知事が記念式典に出席しました。

東京大会は「東京全体」が開催地というコンセプトのもと、各地でさまざまな行事や関連イベントを行ってきました。

大会の集大成となる記念式典では、地元八王子実践高校の書道部によるパフォーマンスを皮切りに、講談師の語りにあわせて竹を使った楽器による演奏やブレイキンが行われ、山とともに生きてきた人々の生活や山への感謝が表現されました。

また、「東京はおよそ1400万人が暮らす大都市でありながら多様で豊かな自然を有する都市です。私たちの生活と深く関わり恵みをもたらす自然を守り続けていきます」という小池知事からのメッセージを栗岡祥一副知事が代読されました。

その後、リレーセレモニーが開催され、東京都の栗岡祥一副知事から杉本知事に対し、大会のシンボルである「山の日帽」が手渡されました。

「山の日帽」を受け取った杉本知事は、「福井県には日本百名山の荒島岳といった本格的な山だけでなく、気軽にハイキングを楽しめる山もたくさんあり、朝倉氏遺跡のある一乗城山、西日本最大級のスキーリゾートなどがある。次の大会は、福井県の自然、山を全国に発信し、豊かで美しい山、森を守り育てて、次の世代につなげていく大会にしていきたい」と来年度の大会に向けた決意を述べました。